

富山県富山市方言の副助詞

布村 依子・市川 秀幸

I. はじめに

1. 調査対象地：富山市は富山県の県庁所在地であり、人口は約31万人である。
2. 調査年月日：1997年10月24日 午前10時～11時
3. 話者：布村智子 昭和22年10月9日生（50歳）
4. 調査者・調査場所：布村依子、市川秀幸・話者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：アクセントは高低2段階の傍線表記とした。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などを表わすもの

A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ出てきた。 ○アメダケデ ナテ カゼマデ フイテ キ
タガイネ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○コトシワ ホウサクデ コメ
ダケデ ナシニ ムキ'モ ヨー トレタネー。

B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○ショーガ'クセーデサエ ジョ
ーズニ ワープロ ツカットンカ'イネ。
4. (宝くじが)当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○アタルト オモツ
トランカツカ'ニ ウレシイワー。〈助詞ガは様々な意味で使われる〉

C. 条件

5. 暇さえあれば釣りにいっている。 ○ヒマサエ アリヤー ツリニ イットツ
チャ。

D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。 ①マー オチャデモ ノンデツタハレ。/②
マー オチャデモ ノンデ クダサイ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ○ミヤケ'ナ コノ マンジュー
ナンカ ドーカネー。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○オモワズ トビアカ'ルホド ウレシ
カッタワ。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マッサカ アンタニマデ
ハナシカ' イクトハ オモワンカッタ。
10. ながるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○タタクヤラ ケッタオスヤラ

アバレトッタ。

11. 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ワタシニ ヒトコト コエカケ
テッタハレリヤ ヨカッタカ'ニ。(ワタシニナリとは言わない。)
12. 野菜なんていくらでもできる。 ①ヤサイチャ イクラデモ デキッチャ。/
②ヤサイナンカ イクラデモ デキッチャ。

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ①ショーユモ ミソモ ツクッ
トッタチャ。/②ショーユカラ ミソカラ ツクットッタモンダチャ。(～モン
ダチャは昔の話をするときに使う。) <～カラ、～カラは一般に使われる>

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いにいきます。 ○ワタシカーア オトートカ ドッチ
カ オテツダイニ イクチャ。<文節末の長音化が副助詞的に機能している。>

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。 ○ソynchョーハンニ シタ
ッテ ソースルヨリ シカタカ' ナカッタングロ。

列挙

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラシナッテ ウメモー サ
クラモ イッペンニ サイタ。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビモ ソロソロ カイカエンナンネ。
やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。 ①マー オチャデモ ノンダッタハレ。/②
マー オチャデモ ノンデ クダサイ。

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○オボン ナッター コドモヤ マゴ'
ドモカ' カエッテクッチャ。<マゴドモは慣用的表現>

F. 提題

20. ゲートボールだつてできるよ。 ①ゲートボールモ デキルヨ。/②ゲートボ
ールダッテ デキッチャ。

話題にあげる

21. 何だい、いいことつて。 ○ナニケ イーコトチャ。

極端なもの例示

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ○ソんなコト コドモニデモ デキッチャ。
23. 食べることにだけは何とかしたい。 ○タベルコトグライワ ナントカ スッ
チャ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエスラ ロクニ オボエトランチャ。
25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベントーダイニ センエンモ カカッタチャ。
- 軽いものをあげる
26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレサエ アリヤ モー ダイジョーブダ
チャ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあげた。 ○リョコーデ ミッカホド アケツチャ。
28. 茶碗に半分くらいください。 ○チャワンニ ハンブンク'ライ チョーダイ。
29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ①コドモニデモ ワカルホドノ
カリヤスイ ホンダチャ。/②コドモニデモ ワカルクライノ カリヤスイ ホ
ンダチャ。
30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ①イッシューカンホド ルスニ スル
ノデ タノミマス。/②イッシューカンクライ ルスニ スルノデ タノミマス。

H. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトシノ サムサワ キョネンホドデワ
ナイワ。

I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チョット ユダン
シタ バッカリニ トンデモナイコトニ ナッタ。

J. 「それにふさわしく」

33. 苦勞しただけあって人間ができています。 ○クローシタダケ アッテ ニンゲ
ンカ' デキトルネ。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マイニチ マコ'ノ モリヤ ナンヤラ
カンヤラデ イソカ'シーチャ。〈ナンヤラカンヤラデは慣用的。やや早口。〉

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソレコソ バケツオ
ヒックリカエシタヨーナ オーアメダチャ。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○チチダケデ ナシニ ハハモ スポーツ
ガ スキナカ'ダチャ。

K. 今にも行なわれる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー タベルバッカリニ シテアツチャ。

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ シゴトカラ カエッテキタバツカリ
ダチャ。

基準

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ モー チョットダチャ。

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズツ ヨンデ ハナシオ シタチャ。

M. 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ ニコズツ ミカンオ アケ'ル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タマニシカ ノマンチャ。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケサワ ネポーシテ パンダケ
タベテキタチャ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソナニ ベンキョーバツカ
リシトルト カラダニ ドクダヨ。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○ウチノ タンボダケ
ノコッテー ヨソワ ゼンブ オワットツチャ。〈限定の意味では副助詞を動詞
の後より名詞のあとにつけるほうが一般的なようだ。〉

O. 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ○モー コレダケシカ ナイヨ。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシコソ イートシニ シタイネ。

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ○コレダケ イッテモ ワカランカ'ケ!

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエンク'ライマデダケナラ ナ
ントカ スツチャ。〈～グライマデダケナラの部分はやや早口だった。慣用的表
現といえようか〉

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○ヒリョーオ ヤレバ ヤルダケ ヨー
ソダツチャ。

「假定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンバイダカラ ユーカ'ダゼ。(シンバイス

レバコソとも言うことがあるかもしれないが、あまり言わないと思う。)〈副助詞に該当する語は含まれないが、ダを非常に強めて、気持ちを込めているように思われた〉

「こそ・假定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○カレワ モンクバツカリ
ユーテ ヒトノ ユーコト キカンワ。

53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 ○なし

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オシテモ ヒーテモ ナーン ウコ'カン
ワ。

55. 失礼なことを言わないでこそ。 N. R. (文末にコソを用いる表現はないと思う)

56. 今でこそ家からでないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマデコソ イエカラ
デンケド ムカシワ ヨー デアルイタチャ。

57. 働けば働くほどもうかる。 ○ハタラケバ ハタラクホド モーカルチャ。

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ①ソ^ニン^ニチ^ニョー^ニハン^ニニ キクホドデモ ナイコ
トダチャ。 / ②ソ^ニン^ニチ^ニョー^ニハン^ニニ キクマデモ ナイコトダチャ。

否定との呼応(それさえもない)

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサカラ イソカ'シテ ヒルコ'ハンモ
タバトルマー ナカッタチャ。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○コンナモンナラ イクラデモ アッチ
ャヨ。

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダーレダッテ ソンナコト イ
ワレタラ オコッチャヨ。

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○ジューネンマエニ
フルサトオ ハナレタッキリ イチドモ カエツランチャ。〈キリの前に促音
が入る。〉

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○イツノマニヤラ ネムツテ シマツタチ

ヤ。

64. 何のことか分からない。①ナンノ コトヤラ ワカランチャ。/②ナンノ
コトカ ゼンゼン ワカランチャ。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。○アトデ アソビニ イッカモ シレンチャ。
どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。○クンガ'ヤラ コンカ'ヤラ ヨー
ワカランネカイネ。

はっきり言わない

67. どこやらへ引っ越したそうだ。○ドッコヤラヘ ヒッコシテ イカレタチャ。

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。○オトーサンチャ キヨーモ オソイネー。

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。○オトーサンチャ コドモミタ
イコト イッテ。

III. 総括

1. 副助詞のほか終助詞としても使用されるチャ。68、69の例のように非難の意味合いでも使われる
2. バカリがバツカリに、62のキリが前の語との接続で、ツキリとなるなど、促音が入る副助詞がある。
3. 34や49のように慣用句的に使用される表現。話者の個人差も考えられる。
4. 13、16、20など、富山方言における副助詞モが様々な機能を持ち、16のように長音化することもある。

(ぬのむら よりこ)

(いちかわ ひでゆき 東京都立大学科目等履修生)